

シルバーのことについて聞いてみました 生活スタイルに合わせた働き方を



橋本市シルバー人材センター
堀川憲一 代表理事

会員からの声

会員からは「草刈りや清掃の仕事をして体を動かしているうちに健康になってきました。」「会員同士でコミュニケーションを図ることで心も体も充実し、元気ではつらつとしています。」「仕事をし社会に貢献しているという緊張も、若々しさを保つ秘訣です。」との声を聞いており、うれしい限りです。

シルバーの始まり

橋本市シルバー人材センターは、平成4年に設立され、平成18年に橋本市と高野口町の合併に伴って統合しました。来年度には30年目を迎えます。高齢者の皆さんが働くことを通して生きがいを得るとともに、地域社会の活性化にも貢献することを目的として運営しています。

経験を生かせるように

最近では草刈りや剪定などの作業ができる人が減少しています。一人ひとり得意なことも違えば、経験の差もあるため、会員それぞれの経験を十分に生かせるような新規事業を展開し、発注者、取引先を開拓しています。

女性会員も増加

近年では、女性が働きやすい就業場所を確保できたことが会員同士の口コミで広がり、女性の会員が増加しています。

社会参加を応援

私自身も、仕事があることが「生きがい」となっています。これからはますます地域で高齢者世帯が増えていきます。元気な高齢者が援助の必要な高齢者を支える仕組みを作る担い手として、いきいきとしたセカンドライフを楽しみませんか。自分の生活スタイルに合わせた働き方ができます。

今後も就業を通して高齢者の皆さんの社会参加を積極的に応援していきます。

高齢者配食サービス見守り事業を

ご存知ですか

橋本市では、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることを支援するため、弁当の配達を活用して見守りを行う「高齢者配食サービス見守り事業」を実施しています。

●事業内容

橋本市と地域の配食事業者が提携し、独居などの見守りが必要な高齢者を対象に弁当の配達を行います。毎週決まった曜日に対面し、弁当（弁当代は利用者負担）を配達してもらうことで、対象となる高齢者の安否確認を行うことができます。

このサービスは、申請時に家族の連絡先を登録できることから、対象者の健康状態に異常があった場合、家族や関係機関に通報することで、早期発見、早期治療につながります。

●対象者

- ① 要介護または要支援の認定を受けた65歳以上の人で独居世帯、高齢者のみの世帯、または日中独居で安否確認が必要な人。
- ② 要介護または要支援の認定を受けた人と同程度の身体状況と認められる人で、老衰・心身の障がい、傷病などの理由により安否確認が必要な人。



●事業の利用について

事業を利用するには担当のケアマネジャーや配食事業者と協議する必要があるため、まずはいきいき健康課高齢福祉係へお問い合わせください。

●配食業者の募集

利用者の居宅などを訪問して、栄養バランスのとれた昼食などを配達する事業者を募集しています。

●問い合わせ

いきいき健康課 高齢福祉係
☎ 33-33705

気軽に ご連絡ください

60歳以上で、健康で働く意欲がある人ならどんなにでも会員になれます。入会説明会も随時行なっていますので、気軽にご連絡ください。

●問い合わせ

橋本市シルバー人材センター
市協一丁目1番24号
☎ 33-31333



利用者さんの声

定期的に事業者さんが見守ってくれるので、安心感があつて良いです。



100歳おめでとうおめでとうございます

- 堀部 善子さん (東家) 大正10年1月生まれ
- 浦木キヌエさん (柏原) 大正10年1月生まれ
- 北野悦さん (紀見ヶ丘) 大正10年1月生まれ